

# 中央と早稲田、皇皇発進

## 大学アイスホッケー交流戦開幕

第2回大学アイスホッケー交流戦、苦小牧大会が5日、苦小牧市白鳥アリーナで開幕した。日本学生氷上競技選手権（インカレ）に向け、夏の強化を進める関東と関西両大学アイスホッケーリーグの6チームが競

い合う。A、B各組に分かれて争う予選リーグの初戦は、中央と早稲田が白星発進した。

大会は道アイスホッケー連盟主催で、苦小牧市、同市教委、同市体育協会が共催。苦小牧アイスホッケー連盟主管、スポーツによる街づくり実行委員会運営、苦小牧観光協会後援、苦小牧民報社協賛。

関東―関西対決となった第1試合は、スピードに優る中央が12―0で同志社を下した。

序盤から試合を優位に進めた中央は5―0で迎えた第3ピリオド、パワープレイ5回で4点を挙げるなど、同志社の追撃を許さなかった。

第2試合はB組の早稲田と慶応が対戦。伝統の一戦らしく両チーム激しくぶつかり合ったが、早稲田が15―1で慶応を圧倒した。

早稲田は第1ピリオド、この試合5得点を決めた神野の連続ゴールを支切りに

得点を重ね、最後まで攻撃の手を緩めなかった。

慶応は第1ピリオド終盤、臼井のゴールで一矢報いたが、力尽きた。

予選リーグ

【A組】

中央	2	0	0
同志社	12	3	0
1勝	7	0	0

同志社 1敗

【B組】

早稲田	5	1	0
慶応	15	6	0
1勝	4	1	0

早稲田 1敗



【早稲田―慶応】第2ピリオド、早稲田が同志社ゴールに攻め込む

菊地（桐谷（神野）酒井（望月）吉崎（工藤）藤田（小川）神野（小原）神野（小原）斎藤優（北側（藤田）北側（小川）藤田）佐々木（慶）臼井（増子）

インカレへ全員  
で守る意識を

軽井沢で1週間の合宿を経て試合に臨んだ慶応は、因縁のライバル早稲田に大差で敗れた。石川伸吉監督は「胸を借りるつもりで戦ったが、相手が早稲田ということ、気合が入りすぎていたと振り返った。」「体面では負けていない。あとは関東上位のスピードに慣れてくれれば、十分にやれる」と収穫もあつたようだ。

石川監督が「うちでナンバーワンのプレイヤー」と大鼓判を押す4年の臼井亮人は慶応唯一の苦小牧出身者。「差はついてしまったが、DFとFWの連携が良くなってきた」と前向きにとらえる。インカレに向けて「全員で守るという意識を徹底させたい」と闘志を燃やす。

### 6日の対戦

【B組】  
東 洋一 慶 応  
（白鳥アリーナ、午後4時）

【A組】  
明 治 同志社  
（白鳥アリーナ、午後6時）